



北区立王子小学校 校長 原田 英孝
巡回拠点通信
令和7年2月3日 2月号
巡回拠点おうじ 巡回指導教員
03-5902-3368(直通電話)

まとめと振り返りの2月



いよいよ学年の終わりが見えてくる時期になってきました。子供たちは4月から自身の様々な課題と向き合い、努力をしてきました。学級では、学年の学習のまとめをして進級の準備をしているところだと思います。今月は、家庭でできる学習のサポートについて紹介します。

子供の「うまくいく」を見つけよう！～おうち学習～

子供の宿題を見ていると、「集中力がない。」「こんな問題にどうしてそんなに時間が掛かるの?」と感じたり、つい言葉に出したりしてしまうことはありませんか?

子供にとって家庭は安心安全な場所であり、失敗が許される場所です。保護者の元にいられる間に、たくさん試して失敗して、自分にとってどのような条件や環境で学習するとうまくいくのかを自分で知ることができるようにサポートをしてあげてください。

◇「勉強は正しい姿勢で」という固定観念を捨てる

- ・バランスディスクの上に足やおしりを乗せる。
 - ・バランスボールに乗りながら宿題をする。
- 体幹が弱いお子さんは、正しい姿勢を保つことに大きなエネルギーを要します。長時間の勉強でなければ大目に見てみましょう。グラグラしている方が集中してできる子もいます。



◇宿題をする最適なタイミングをつかむ

- ・帰ってすぐにすることが得意な子には、「玄関でやってみるのはどう?」と聞いてみる。
- ・リミットが決まっている方がはかどる子には登校前にさせてみる。
- ・お腹が満たされるとやる気になる子には先におやつを出してみる。

どのタイミングがその子にとって
はかどるかをよく観察してみてください。



◇ごほうび作戦

・レベルアップボックス

A4サイズの紙が入るボックスを用意して、家庭で取り組んだ宿題やプリントを入れていき、ごほうびが書いてある目盛りに達したら、そのごほうびをもらえる仕組みです。(瓶の中にビー玉を貯めるという方法もよいですね。)

・色水が入ったシールやスパンコール、ちょっとしたお菓子、お家の方とのスキンシップや特別な時間

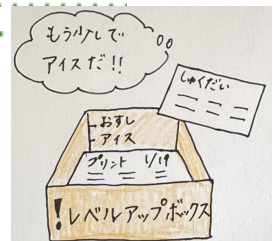
ちょっとしたものをごほうびとして子供と相談して設定すると、「あなたができていることを認めているよ。」と表現するものになります。

・スモールステップでごほうび

集中が続かない子には、短く課題を区切った箇所に小さなお菓子を置いて休憩を挟むことが有効です。目標が目前にあるので課題に向き合いやすくなります。

・時間貯金

決められた時間よりも早く終われたときに、余った時間を貯めて、楽しいことに使う方法です。



◇「すべてを自分の力で」の発想をなくす

- ・消しゴム係を保護者の役割にする。
 - ・日記の下書きはタブレットの音声入力で行う。出来事を思い出すことが困難な子には、動画でその時の様子を見せて記憶力をサポートする。
 - ・音読が難しいときには、リーディングルーラーを使う。保護者が読み聞かせることから始めてみる。
- 手先や体の動かし方が不器用なお子さんは、勉強に伴う動作に負担がかかりやすくなります。